

表2. 感染症の内訳

疾患名	小児例	成人例	合計
敗血症	53 (26.4%)	403 (30.7%)	456 (30.2%)
肺炎	34 (16.9%)	396 (30.2%)	430 (28.4%)
汎発性腹膜炎	14 (7.0%)	142 (10.8%)	156 (10.3%)
中枢神経感染症	26 (12.9%)	38 (2.9%)	64 (4.2%)
肝脾臓感染症	3 (1.5%)	57 (4.3%)	60 (4.0%)
腎炎・尿路感染症	6 (3.0%)	36 (2.8%)	42 (2.8%)
ウイルス感染症	10 (5.0%)	31 (2.4%)	41 (2.7%)
創部感染症	1 (0.5%)	28 (2.2%)	29 (1.9%)
縦隔炎・膿胸	3 (1.5%)	19 (1.5%)	22 (1.5%)
上気道感染症	6 (3.0%)	15 (1.1%)	21 (1.4%)
心筋炎・心内膜炎	2 (1.0%)	15 (1.1%)	17 (1.1%)
その他	18 (8.9%)	66 (5.0%)	84 (5.6%)
不明	25 (12.4%)	65 (5.0%)	90 (5.9%)
合計	201	1311	1512

図1. IVIG使用時の対象病原体（重複例を含む）

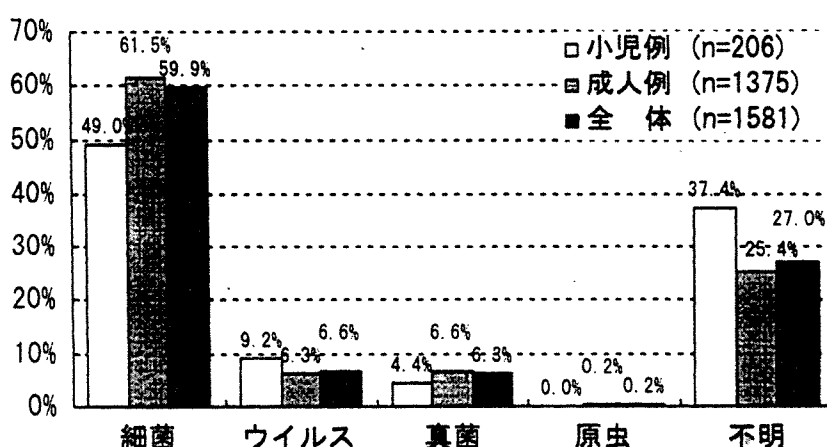


表3. IVIGの投与方法

		小児例	成人例	全体
投与日数 (日)	中央値	3.00	3.00	3.00
	平均値	2.69	3.06	3.01
	範囲	1~8	1~31	1~31
投与量 (g/日)	中央値	1.50	5.00	5.00
	平均値	2.00	4.74	4.37
	範囲	0.1~12.5	0.5~25	0.1~25
抗生物質 との併用	有	177 (88.0%)	1250 (95.3%)	1427 (94.4%)
	無	12 (6.0%)	46 (3.5%)	58 (3.8%)
	不明	12 (6.0%)	15 (1.2%)	27 (1.8%)

図2. 投与開始日（術後日数）別のIVIG使用頻度

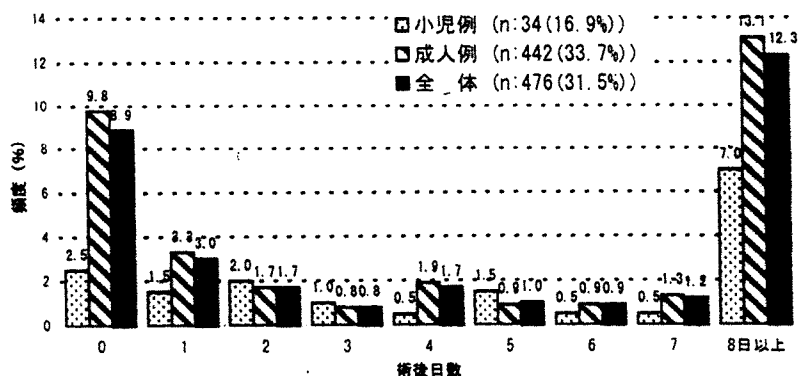


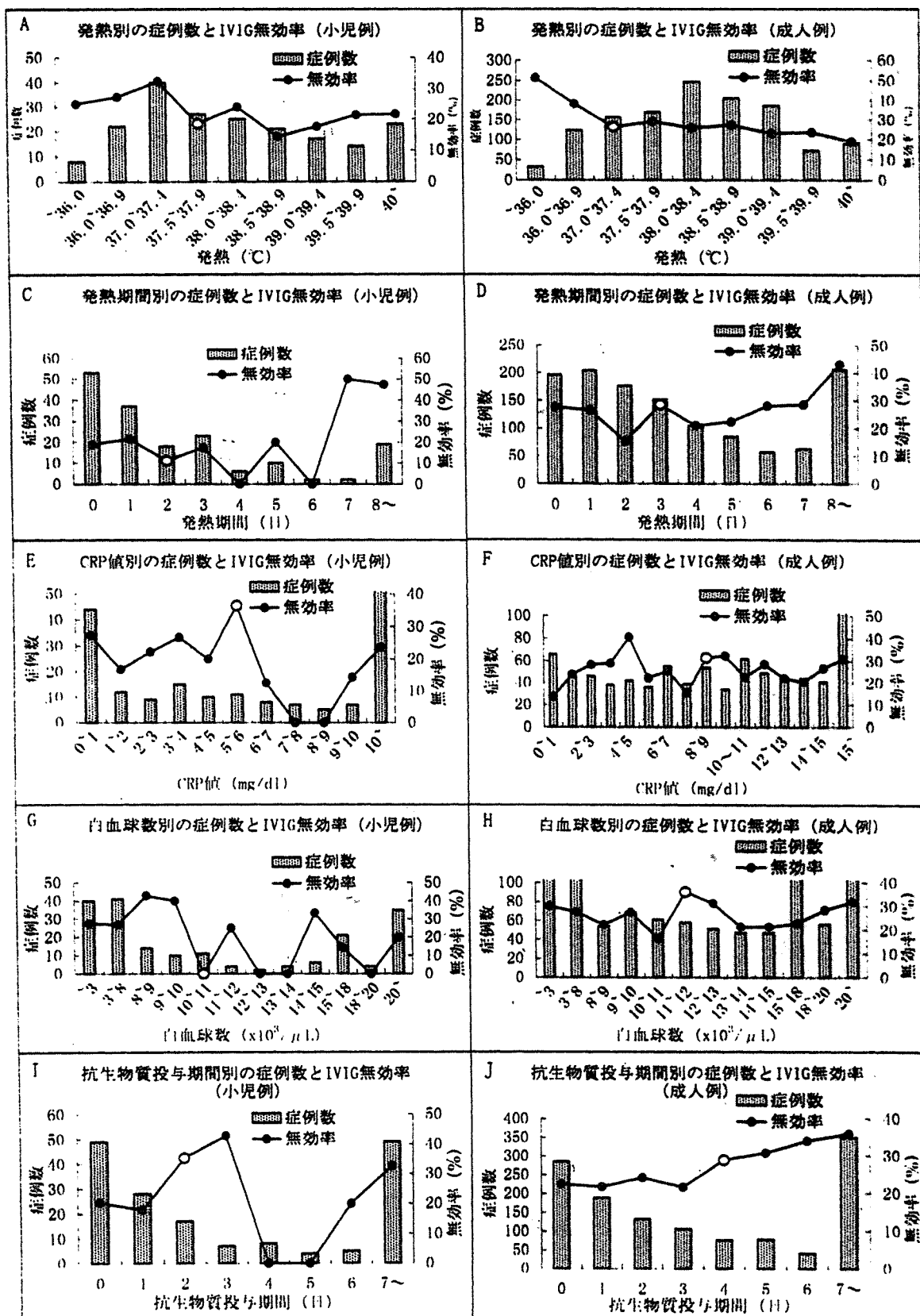
表4. IVIG開始基準項目の使用頻度と値

項目	小児 (n=201)				成人 (n=1311)			
	頻度	Median	Average	Range	頻度	Median	Average	Range
発熱	197 (98.0%)	38	38.1	34.6-42	1281 (97.7%)	38.2	38.2	33.6-42
発熱期間	169 (84.1%)	1	3.2	0-30	1243 (94.8%)	3	5	0-180
収縮期血圧	163 (81.1%)	94	89.3	33-140	1215 (92.7%)	116	117.4	44-230
脈拍数	182 (90.5%)	131	132.8	30-200	1178 (89.9%)	96	97.7	42-180
呼吸数	132 (65.7%)	35	37.5	16-102	459 (35.0%)	20	22.2	8-68
CRP値	187 (93.0%)	5.15	7.6	0-49	1236 (94.3%)	13.1	14.8	0.02-60
白血球数	192 (95.5%)	9045	12743.3	0-174200	1291 (98.5%)	10000	11836	0-379900
顆粒球比率	132 (65.7%)	61	56.8	0-97.7	853 (65.1%)	84	72.5	0-100
血液培養	110 (54.7%)	[陽性: 33 (30%), 陰性: 77 (70%)]			807 (61.6%)	[陽性: 268 (33%), 陰性: 539 (67%)]		
血清IgG	55 (27.4%)	563	704	45-2340	171 (13.0%)	724	979	4-7773
抗生物質投与期間	167 (83.1%)	2	7	0-134	1256 (98.8%)	3	5.8	0-150
抗生物質の反応性	85 (42.3%)	[無効: 62 (73%), 有効: 23 (27%)]			689 (52.6%)	[無効: 530 (77%), 有効: 159 (23%)]		
その他	23 (11.4%)				211 (16.1%)			

表5. IGIV投与開始時における必須項目の使用頻度

使用項目								小児例(n=201)	成人(n=1311)	全体(n=1512)				
7項目	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数	血液培養	抗生物質投与期間	抗生物質の反応性	43	21.4%	450	34.3%	493	32.6%	
6項目	発熱	CRP値	白血球数	血液培養	抗生物質投与期間	抗生物質の反応性		47	23.4%	459	35.0%	506	33.5%	
	発熱	発熱期間	白血球数	血液培養	抗生物質投与期間	抗生物質の反応性		44	21.9%	473	36.1%	517	34.2%	
	発熱	発熱期間	CRP値	血液培養	抗生物質投与期間	抗生物質の反応性		43	21.4%	451	34.4%	494	32.7%	
	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数	抗生物質投与期間	抗生物質の反応性		78	38.8%	639	48.7%	717	47.4%	
	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数	血液培養	抗生物質の反応性		43	21.4%	450	34.3%	493	32.6%	
	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数	血液培養	抗生物質投与期間	抗生物質の反応性		84	41.8%	720	54.9%	804	53.2%
5項目	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数	血液培養	抗生物質投与期	抗生物質の反応性	43	21.4%	451	34.4%	494	32.7%	
	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数	血液培養			92	45.8%	736	56.1%	828	54.8%	
	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数		抗生物質投与期間	抗生物質の反応性	147	73.1%	1131	86.3%	1278	84.5%	
	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数		抗生物質の反応性		78	38.8%	637	48.6%	715	47.3%	
	発熱	発熱期間	CRP値	血液培養		抗生物質投与期間	抗生物質の反応性	84	41.8%	721	55.0%	805	53.2%	
	発熱	発熱期間	CRP値	血液培養		抗生物質の反応性		43	21.4%	451	34.4%	494	32.7%	
	発熱	発熱期間	CRP値		抗生物質投与期間	抗生物質の反応性		78	38.8%	639	48.7%	717	47.4%	
	発熱	発熱期間	白血球数	血液培養		抗生物質投与期間	抗生物質の反応性	85	42.3%	752	57.4%	837	55.4%	
	発熱	発熱期間	白血球数	血液培養		抗生物質の反応性		44	21.9%	473	36.1%	517	34.2%	
	発熱	発熱期間	白血球数	抗生物質投与期間		抗生物質の反応性		80	39.8%	668	51.0%	748	49.5%	
	発熱	発熱期間	血液培養	抗生物質投与期間		抗生物質の反応性		44	21.9%	475	36.2%	519	34.3%	
	発熱	CRP値	白血球数	血液培養		抗生物質投与期間	抗生物質の反応性	89	44.3%	742	56.6%	831	55.0%	
	発熱	CRP値	白血球数	血液培養		抗生物質の反応性		47	23.4%	459	35.0%	506	33.5%	
	発熱	CRP値	白血球数	抗生物質投与期間		抗生物質の反応性		82	40.8%	649	49.5%	731	48.3%	
	発熱	CRP値	血液培養	抗生物質投与期間		抗生物質の反応性		47	23.4%	460	35.1%	507	33.5%	
	発熱		血液培養	抗生物質投与期間		抗生物質の反応性		48	23.9%	482	36.8%	530	35.1%	
	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数	血液培養		抗生物質投与期間	抗生物質の反応性	84	41.8%	726	55.4%	810	53.6%
	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数	血液培養		抗生物質の反応性		43	21.4%	451	34.4%	494	32.7%
	発熱	発熱期間	CRP値	白血球数	抗生物質投与期間		抗生物質の反応性		78	38.8%	640	48.8%	718	47.5%
	発熱	発熱期間	CRP値	血液培養	抗生物質投与期間		抗生物質の反応性		43	21.4%	452	34.5%	495	32.7%
	発熱	発熱期間	白血球数	血液培養	抗生物質投与期間		抗生物質の反応性		44	21.9%	474	36.2%	518	34.3%
		CRP値	白血球数	血液培養	抗生物質投与期間		抗生物質の反応性		48	23.9%	461	35.2%	509	33.7%

図3. 必須7項目における値別のIVIG使用症例数と無効率



：無効率が著明に変化した値

表6. 必須基準項目における基準値適応率

項目数	小児例 (n=201)		成人例 (n=1311)		全体 (n=1512)	
	意識調査基準値	使用実態調査基準値	使用実態調査基準値	使用実態調査基準値	使用実態調査基準値	使用実態調査基準値
7項目	0 (0.0%)	4 (2.0%)	6 (0.5%)	49 (3.7%)	6 (0.4%)	53 (3.5%)
6項目	0 (0.0%)	8 (4.0%)	10 (0.8%)	66 (5.0%)	10 (0.7%)	74 (4.9%)
5項目	3 (1.5%)	31 (15.4%)	25 (1.9%)	185 (14.1%)	28 (1.9%)	216 (14.3%)

表7. IVIG投与開始の基準値

必須項目 7項目 6項目 5項目	項目	細項目	小児		成人	
			前回	今回	前回	今回
○ ○ ○	発熱	最高値	39.0℃	38.0℃	39.0℃	38.0℃
		最低値	36.0℃	36.0℃	36.0℃	36.0℃
○ ○ ○	発熱期間		5日	1日	3日	3日
	収縮期血圧		80mmHg	90mmHg	90mmHg	90mmHg
	脈拍数		140/分	140/分	100/分	100/分
	呼吸数		45/分	35/分	20/分	20/分
○ ○ ○	CRP値		10mg/dl	5mg/dl	20mg/dl	10mg/dl
○ ○ ○	白血球数	最高値	15000/μl	10000/μl	15000/μl	10000/μl
		最低値	3000/μl	3000/μl	3000/μl	3000/μl
○ ○ ○	血液培養		陽性	陽性	陽性	陽性
○ ○ ○	抗生物質投与期間		4日	2日	3日	3日
○	抗生物質の反応性		無効	無効	無効	無効
		呼吸器障害 肝障害 腎障害 神経障害 臓器障害・その他検査 全身状態 腹部所見 ウイルス検査	黄疸など 乏尿など	胸部XP所見など 髄液検査 ウイルス検査	胸部XP所見など 黄疸など 乏尿など	胸部XP所見など ショック・DIC など 腰痛・腹膜炎 状など

図4. IVIGの効果

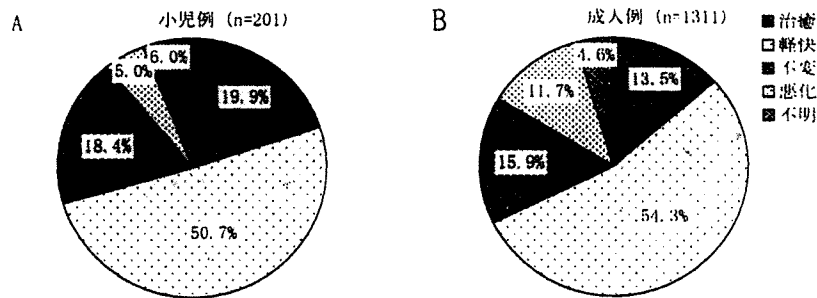


図5. IVIG使用症例の転帰と死亡原因

